

# 医療緊急警報

## を発令！

### ■発令期間

7月12日(火)～当面の間

※終期は、医療のひっ迫状況等を見極めて判断

### ■感染状況の区分

#### ・感染急増圏域(赤圏域)

延岡・西臼杵圏域、日向・東臼杵圏域、西都・児湯圏域、  
宮崎・東諸県圏域、都城・北諸県圏域

#### ・感染警戒圏域(オレンジ圏域)

小林・えびの・西諸県圏域、日南・串間圏域

※各圏域の感染状況に応じて、当区分は今後随時変更



7月12日時点

# 行動要請の概要

内容	医療警報	医療緊急警報
外出・移動	○外出・移動の際は感染防止対策の徹底を	○混雑した場所や感染リスクの高い場所への外出・移動の自粛
会食	○会食時の「みやざきモデル」の推奨 ・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ひなた飲食店認証店を利用する場合</span> 感染リスクの高まるような大人数、長時間での会食は控えて ・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ひなた飲食店認証店以外を利用する場合</span> 1卓4人以下、2時間以内(テーブル間の席の移動は控えて) ・ひなた飲食店認証店を利用しましょう	○同左  ○ <u>高齢者や基礎疾患を有する方、医療従事者及び高齢者施設等従事者は会食は家族などいつも一緒にいる身近な人と</u>
高齢者施設等の面会	○感染防止対策を徹底の上、人数を最小限で	○ <u>対面での面会を制限</u> (ガラス越しやオンラインでの面会を)
イベント	○収容率と人数上限でどちらか小さい方を限度 ・収容率：大声あり50%以内、大声なし100%以内 ・人数上限：5,000人又は収容定員50%以内のいずれか大きい方 ※5,000人超のイベントで、感染防止安全計画を策定した場合は、収容定員まで追加可(大声なしが前提) ○飲食時における感染防止対策の徹底(「ひなた飲食店認証店」の認証基準に準じた対策の実施)	
その他	○家族など、いつも一緒にいる身近な人以外と会う際は、必ず不織布マスクの着用を ○少しでも体調に異変がある際は、無理な出勤や外出を控え、すぐに身近な医療機関を受診を ○感染に不安がある場合や、県外から帰ってきた方、県外から来られた方は、早期の検査の実施を ○感染に不安のある方は、高齢者や基礎疾患を有する方に感染を広げないように、訪問したり、一緒に食事したりすることを避けて	

# 県民の皆様へのお願い

## 不織布マスクの適切な着用を！



家族など、いつも一緒にいる身近な人以外と会う際は、必ず不織布マスクの着用をお願いします。

**特に会話をする時はマスクを外さないで！**

## 会食は「みやざきモデル」で！



「ひなた飲食店認証店」を利用し、「みやざきモデル」の徹底（特に感染リスクの高まるような大人数・長時間は控えて）をお願いします。認証店以外では、1卓4人以下、2時間以内でテーブル間の移動は控えてください。自宅等での会食においても「みやざきモデル」を徹底してください。

## 早期の医療機関の受診を！



少しでも体調に異変がある際は、無理な出勤や外出を控え、すぐに身近な医療機関を受診してください。

宮崎県新型コロナウイルス感染症受診・相談センター  
☎0985(78)5670 (24時間対応)

## 早期の無料検査の受検を！



感染に不安がある場合や、県外から帰ってきた方、県外から来られた方は、早期の検査の実施をお願いします。

宮崎県検査相談コールセンター  
☎0985(68)1001 (受付時間：9時～17時) ※土日祝を含む

## 高齢者施設・障がい者施設の対面での面会制限



緊急やむを得ない場合を除き、高齢者施設等での対面での面会は制限してください。（ガラス越しやオンラインでの面会をお願いします）

## ワクチン3回目接種の積極的な検討を！



ワクチン3回目接種により、発症予防効果や入院予防効果に加え、後遺症のリスクが低くなることも報告されています。特に若い世代の皆様も自分自身と大切な人の健康を守るため、接種の検討をお願いします。

# 来県される皆様へのお願い

## 来県前には、ワクチン3回目接種の完了又は検査での陰性確認を！



来県前にはワクチンの3回目接種を完了するか、PCR等検査で陰性を事前に確認してください。また、感染リスクの高い行動は控え、体調に異変がある場合は来県の中止・延期をお願いします。

## ■高齢者施設等における検査・医療体制の充実

- 水際対策：施設職員向けの抗原検査キットの追加配布  
(約1,000の高齢者・障がい者施設に対し、約9万3千個を配布)
- 事業継続支援：衛生用品の購入・人件費等の補助  
(第6波において92施設に補助を実施)
- 施設内療養体制の強化：対応マニュアル・取組事例の紹介、往診を行う医療機関への支援

## ■無料検査体制の継続（各実績は7月3日時点）

当面の間、継続

- ・検査所数：71箇所（医療機関14箇所、薬局48箇所、事業所9箇所）
- ・検査件数：累計179,769件（931件/日）
- ・陽性件数：累計3274件（17件/日）

## ■経口治療薬（ラゲブリオ）処方体制の拡充

	4月15日時点	5月15日時点	6月15日時点
登録医療機関数	133施設	154施設	184施設
登録薬局数	84施設	103施設	131施設
県内での処方実績	457件	629件	867件

# ワクチン3回目及び4回目接種の促進について

## ワクチン2回目接種から5か月経過した方で3回目の接種が完了した方の割合

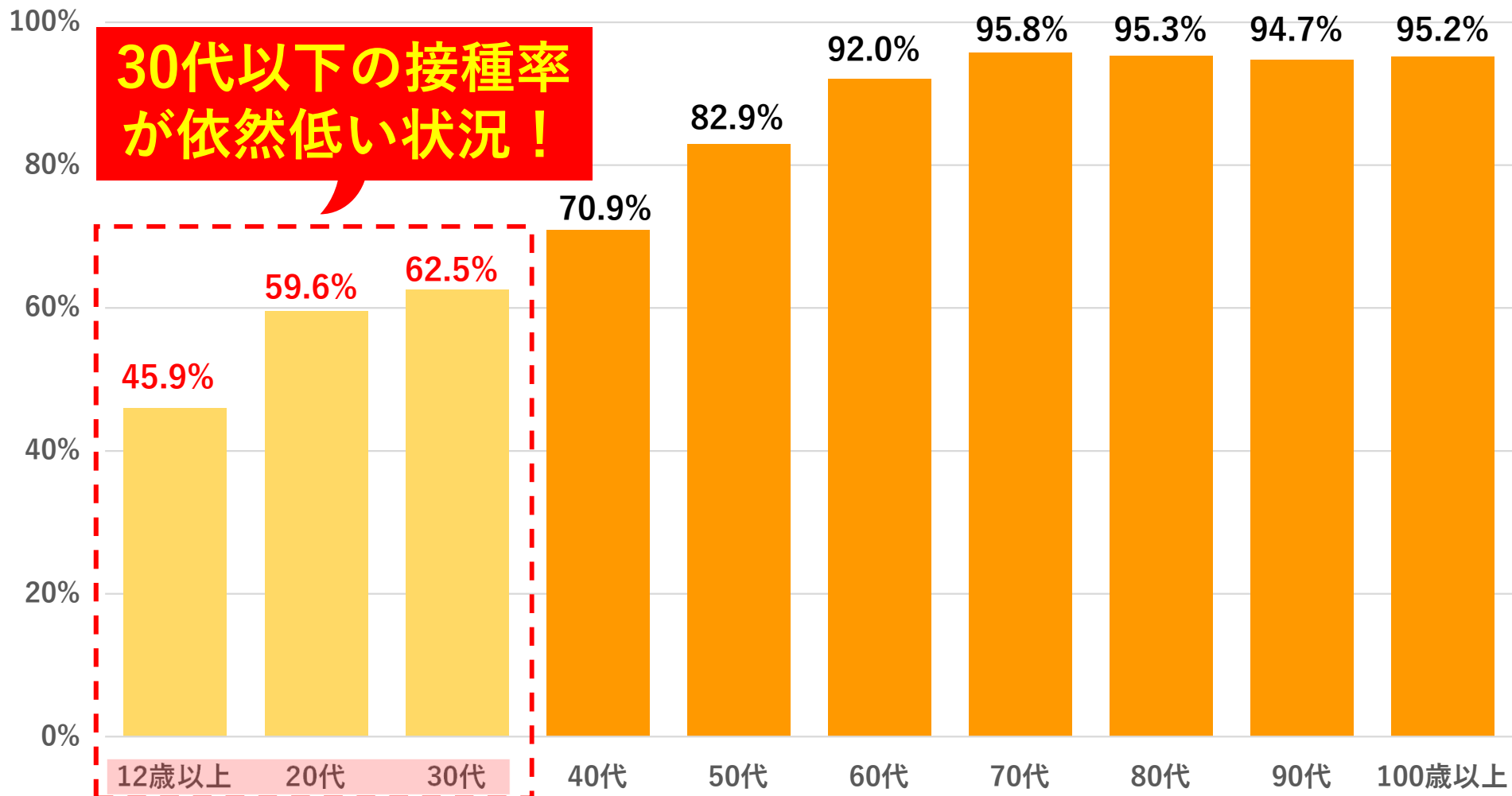
### ■2回目接種から5か月経過した方の接種率

	12-19歳	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	100代
接種率	45.9%	59.6%	62.5%	70.9%	82.9%	92.0%	95.8%	95.3%	94.7%	95.2%

R4.7.10時点

### ■小児ワクチン接種率

1回目	20.4%	2回目	19.0%
-----	-------	-----	-------





# 市町村別のワクチン3回目接種率（令和4年7月10日現在）

## 2回接種完了者に対する3回目接種率

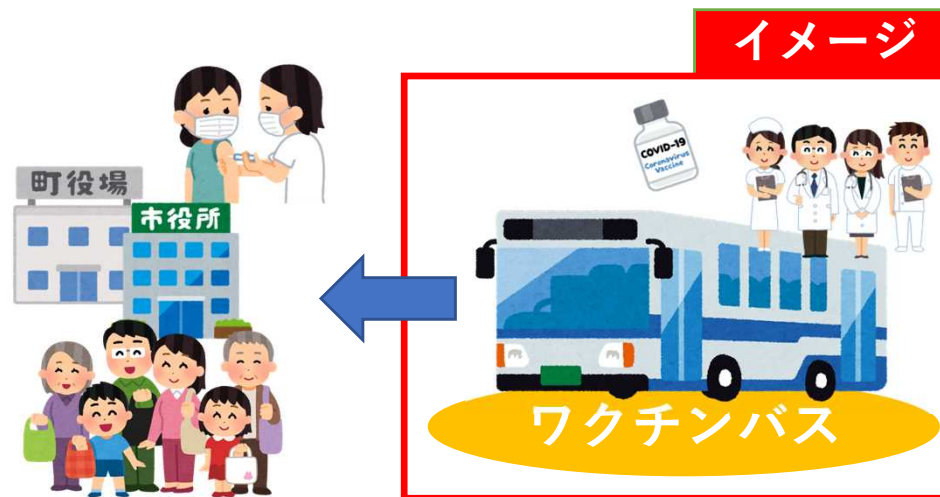
市町村名	全体		市町村名	全体		市町村名	全体	
		12-39歳			12-39歳			12-39歳
宮崎市	77.1%	53.4%	三股町	78.1%	52.8%	都農町	87.6%	69.2%
都城市	80.5%	57.4%	高原町	82.3%	55.0%	門川町	78.4%	53.2%
延岡市	77.9%	51.8%	国富町	79.3%	53.2%	諸塚村	91.7%	83.3%
日南市	79.8%	51.5%	綾町	82.5%	56.2%	椎葉村	89.0%	73.0%
小林市	81.4%	56.8%	高鍋町	81.2%	60.8%	美郷町	89.4%	72.3%
日向市	77.6%	52.6%	新富町	79.9%	60.8%	高千穂町	92.8%	79.0%
串間市	83.7%	59.6%	西米良村	92.2%	81.7%	日之影町	96.3%	89.5%
西都市	78.8%	49.5%	木城町	87.6%	69.3%	五ヶ瀬町	87.5%	63.5%
えびの市	83.8%	57.6%	川南町	83.7%	64.7%			

## ○ 市町村における金曜等の夜間接種の促進

- ・ 仕事帰り等に立ち寄りやすい接種の時間帯の設定

## ○ 小児の接種機会の確保

- ・ 夏休み期間中に接種の機会が少ない地域へのワクチンバスの派遣を検討



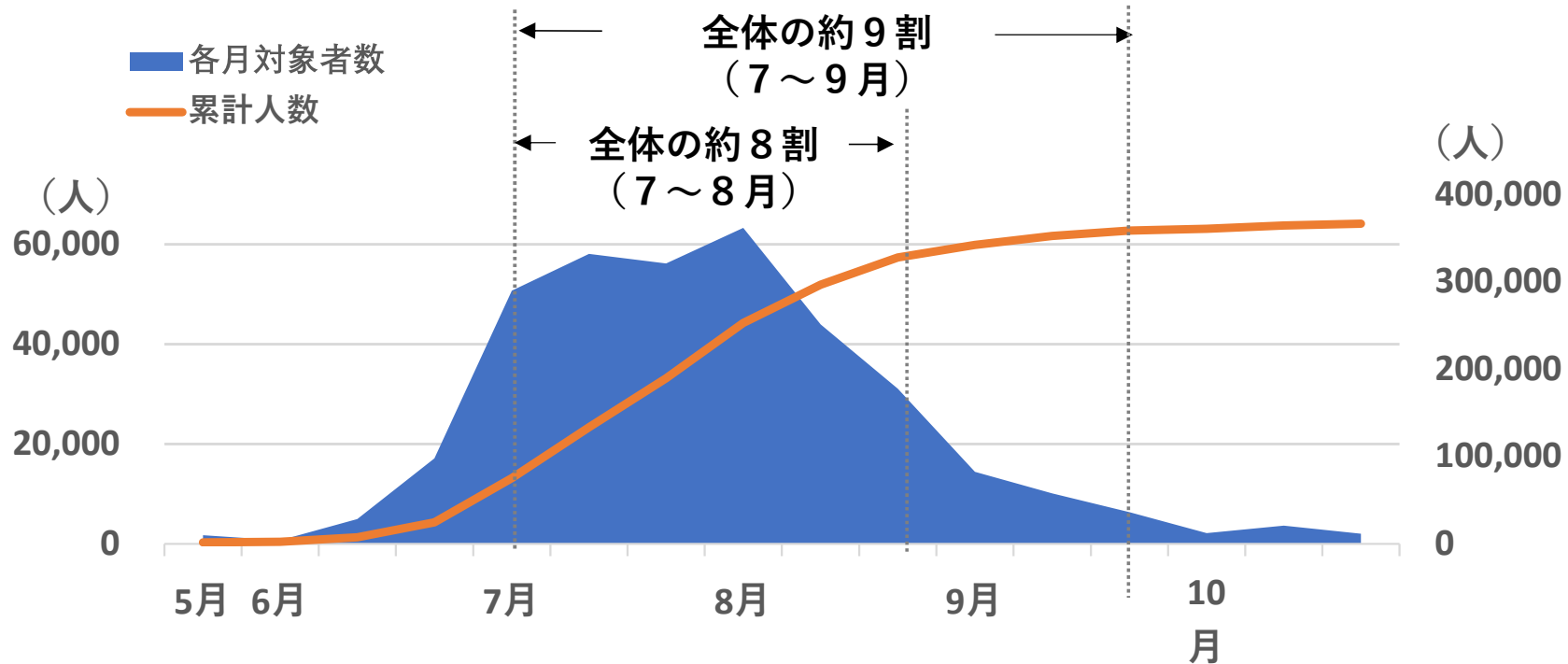
## ○ ノバボックス（国内製造ワクチン）接種医療機関の確保

- ・ 医療機関数 47か所（令和4年7月8日現在）
- ・ 対象者 18歳以上の方（3回目接種まで）
- ・ 7月末までに3,300回分を確保

# ワクチン4回目接種の状況と取組

## 1 4回目接種の状況（令和4年7月10日現在）

60歳以上人口	425,447人	4回目接種者数	18,720人	接種率	4.4%
---------	----------	---------	---------	-----	------



## 2 接種の推進に向けた取組

- ラジオCMのほかテレビ、新聞等での情報発信
- 市町村への直接訪問やウェブ会議の開催 など



接種促進の啓発



Mr.バニーと坂井淳子出演のラジオCM



## ■フォローアップセンターによる自宅療養者の健康観察の実施

- フォローアップセンターにおいて、自宅療養者のうち、軽症、無症状の方の健康観察を実施（全体の約8割）
- 保健所は高齢者等の重症化リスクの高い患者への対応に重点化

## ■ICT技術の導入等による業務の効率化

- ヒアリングシート（電子申請システム）の活用
  - ・陽性者に事前にメールでヒアリングシートを送付し、電子システム上で本人が基本情報を入力することで、疫学調査業務（電話聞き取り）を省力化
- My HER-SYS（※）の活用
  - ・日々の健康状態を陽性者本人がシステム上で入力することで健康観察業務を省力化

※陽性者本人がスマートフォンやパソコン等で自身や家族の健康状態を入力できるHER-SYSの健康管理機能

- AI-OCR（光学的文字認識）を用いた患者情報のとりまとめ
  - ・導入前：1日40人程度が限度 → 導入後：120人の入力が半日で可能に

## ■全庁的な応援体制の継続

- 最大50人/日の応援職員の増員を継続